

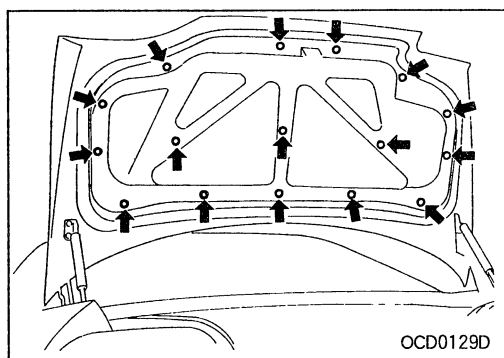
OC 開閉装置

目次

概要・トランクリッドフィニッシャー	OC- 2
概要	OC- 2
トランクリッドフィニッシャー (GT-R車)	OC- 2
概要・リモートコントロールエントリーシステム故障診断	OC- 3
概要	OC- 3
作業前注意	OC- 3
システム概要	OC- 3
構成部品取付位置	OC- 4
回路図	OC- 5
コントロールユニット入出力信号基準値	OC- 6
診断前点検	OC- 7
リモコンの電池交換	OC- 7
アンテナ点検	OC- 8
現象別の故障診断	OC- 9
現象1 リモコン操作で運転席ドアロックが作動しない	OC- 9

概要

ここでは、従来型車よりの変更点についての点検整備要領を記載する。
なお、記載なき内容については「スカイラインR33型整備要領書・点検・
脱着版（A006023）」を参照のこと。



トランクリッドフィニッシャー（GT-R車）

取り外し

1. トランクリッドフィニッシャーは取付クリップ（16箇所）を外し、
取り外す。

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused

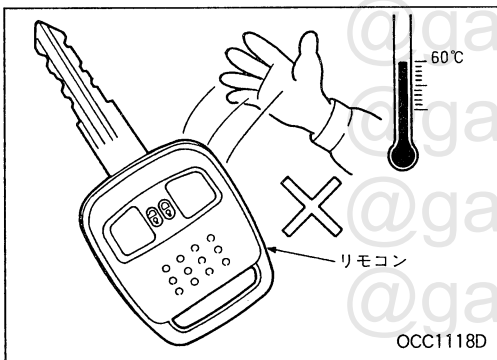
概要

- ここでは、従来のスマートエントランスコントロールユニットから、リモートコントロールエントリーの機能を別ユニットに独立させたことによるコントロールユニットの回路変更に伴う点検整備要領を記載する。なお、記載なき整備要領は「ニッサンスカイラインR33系整備要領書（A006024）」を参照のこと。

作業前注意

- コネクターの脱着は電源OFFの状態で行う。
- 故障箇所を修理するときには、バッテリーのマイナスターミナルを必ず外した状態で行う。
- また、故障現象が明らかに電気系に起因すると推察される場合には、ヒューズ又はヒューズブルリンクの溶断及びコネクタ付近の断線、端子抜け、かん合不良などについても点検を行うこと。

参考：断線及び端子抜けの修理方法については「ニッサンコネクタ一覧（日産車のコネクタと端子の整備）資料コードNo. N200005」を参照のこと。



- リモートコントロールエントリーシステムの作動条件（下記注意を参照）を確認した後、診断前点検及び不具合現象別故障診断手順に従い、故障診断を行うこと。
- リモコンの取り扱い及び使用上下記の事項は故障の原因となるので注意すること。

注意：

- 水に濡らしたり、高所から落下させたり、ぶついたりした場合
- 高温（60℃以上）になる場所に長時間放置した場合

システム概要

- リモートコントロールエントリーシステムは、リモコン操作により送信機の暗証番号を車両側のコントロールユニットが受信し、暗証番号が一致した場合のみドアの解錠、施錠を行うシステムである。
- リモコンの暗証番号は登録方式とし、万一リモコンを紛失した場合でも新しいリモコンの再登録を可能とし、リモコンは最高4個まで登録できる。
- このシステムは、下記の条件が満たされたときのみリモコン操作が可能になります。

注意：

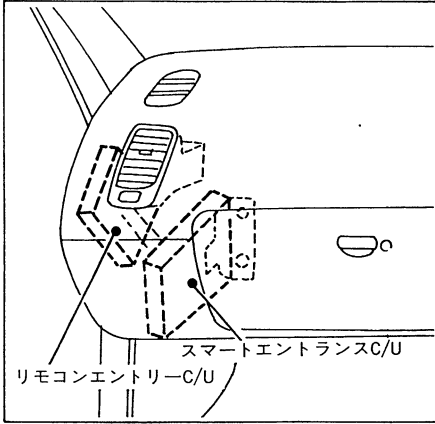
- キー差し込み検知スイッチOFF状態
- 全ドアが閉状態（ドアスイッチOFF状態）
- リモコン作動距離が車両中心から約3m以内

- キー差し込みスイッチがOFFでいずれかのドアが開いている（半ドア）とき、リモコンを使用してドアロック操作を行っても、ドアロック機能は作動しません。

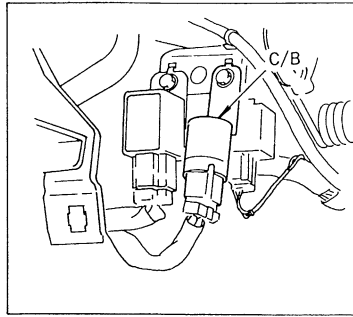
注意：但し、ドアアンロック操作はドアが開状態（ドアスイッチON）でも作動する。

- リモコンのアンロック動作後、30秒間以内にドアの開閉が行われなかったとき、及びリモコンでロック操作を行わなかったときオートドアロック機能が作動する。

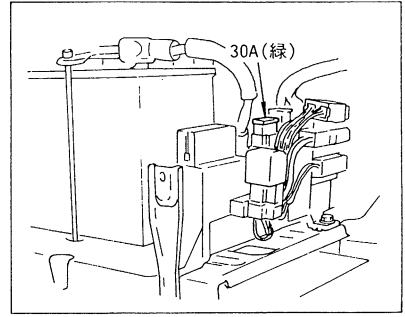
構成部品取付位置



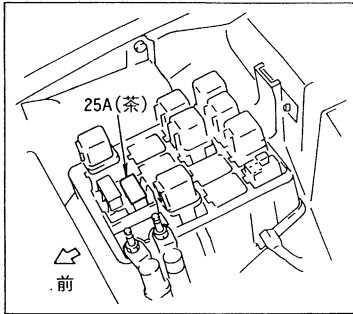
グローブボックス奥(左ダッシュサイド上)



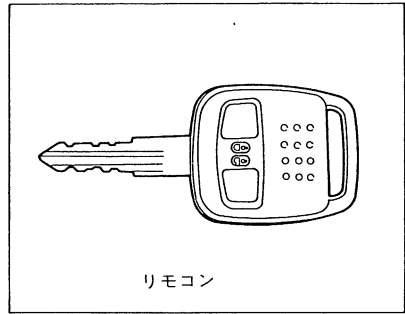
ステアリング左横(インストロパネル奥)



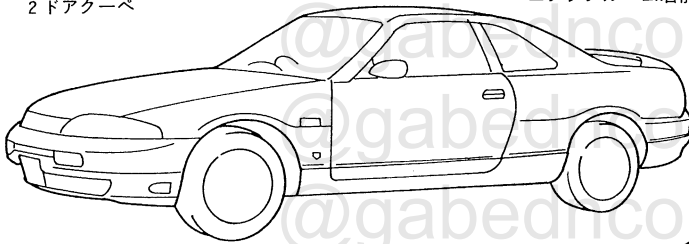
トランクルーム内(バッテリー横)



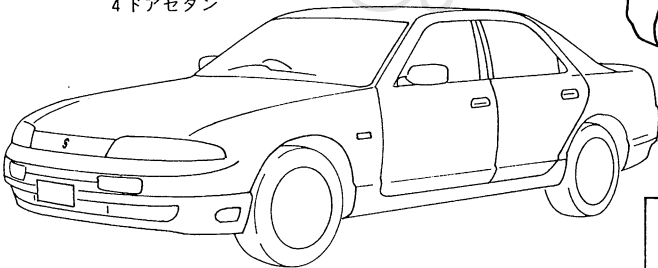
エンジンルーム右前部



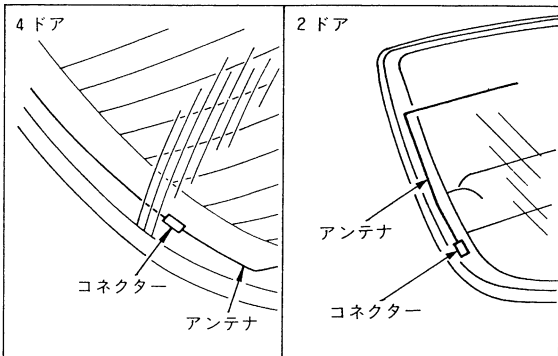
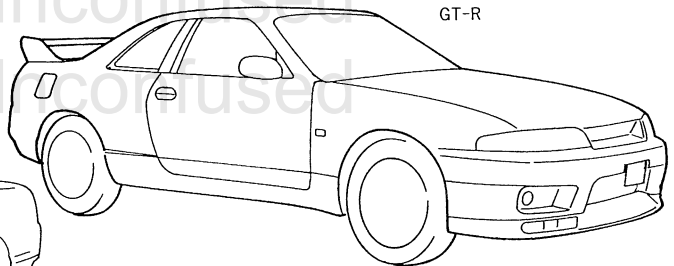
2ドアクーペ



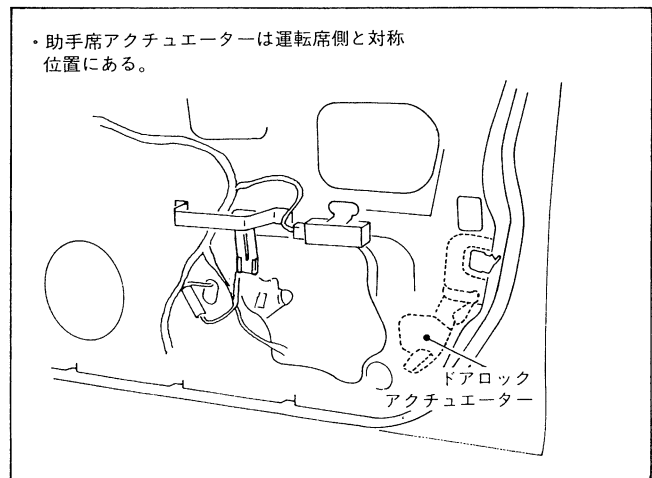
4ドアセダン



GT-R



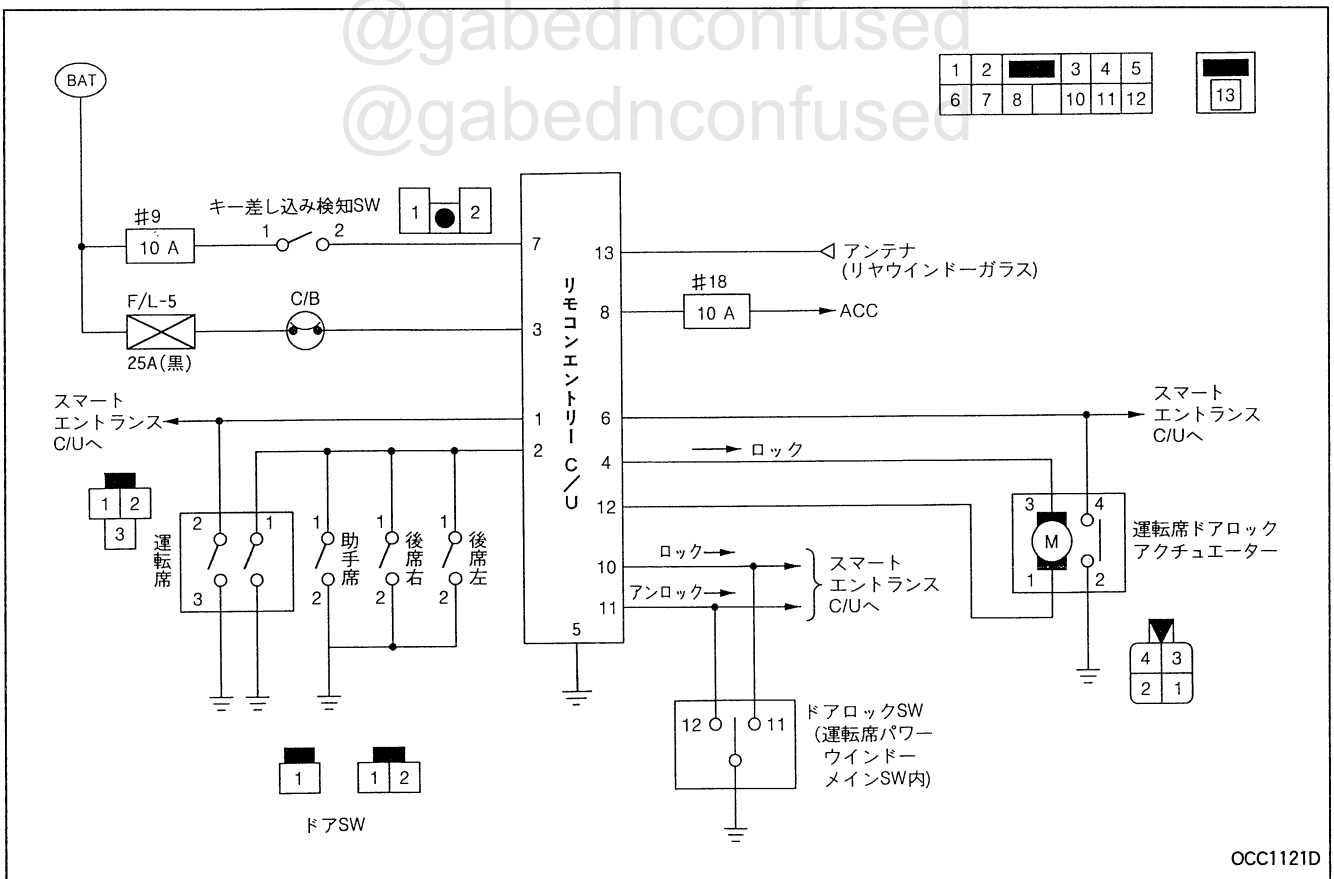
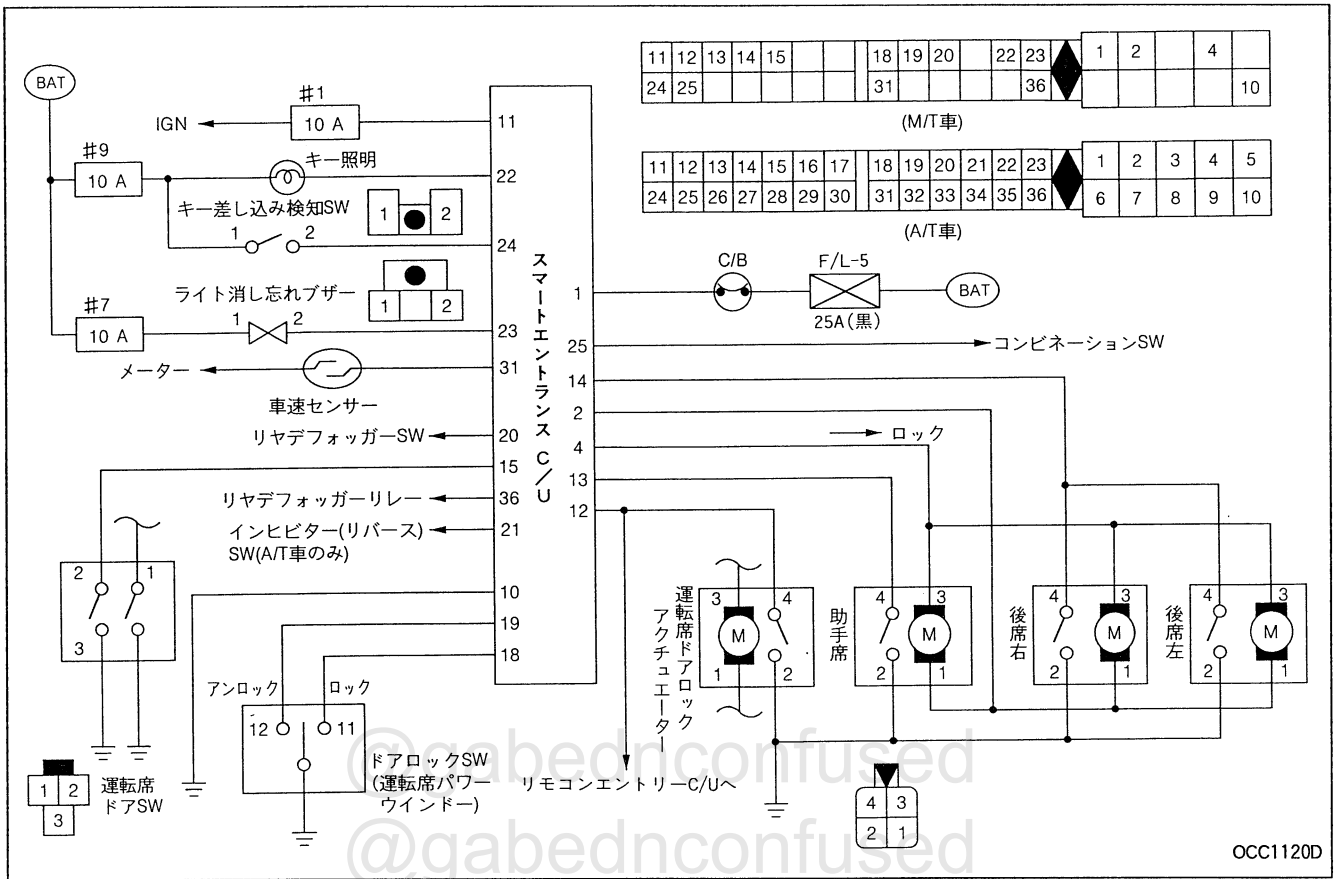
リヤウィンドー部



運転席ドアパネル部

リモートコントロールエントリーシステム故障診断

回路図



リモートコントロールエントリーシステム故障診断

コントロールユニット入出力信号基準値

サーキットテスターによる基準値

1	2	3	4	5
6	7	8	9	10

〔スマートエントランスC/U〕

1	2	3	4	5		
6	7	8	9	10	11	12

〔リモコンエントリーC/U〕

13

OCC1122D

端子番号	信号名	測定方法	基準	備考
1	バッテリー電源	電圧値点検	約12V	
2	各席ドアロックアクチュエーターアンロック出力信号	リモコンのアンロックSWを押す	約12V→0V →12Vに変化	2ドアハードトップは助手席のみ
4	各席ドアロックアクチュエーターロック出力信号	リモコンのドアロックSWを押す	↑	2ドアハードトップは助手席のみ
10	ユニットアース	抵抗値点検	約0Ω	
11	IGN電源	キーSWをONする	約12V	
12	運転席ドアロック検出信号	ドアロック時	約12V	
		ドアアンロック時	約0V	
13	助手席ドアロック検出信号	ドアロック時	約12V	4ドアセダンのみ
		ドアアンロック時	約0V	
14	後席ドアロック検出信号	ドアロック時	約12V	4ドアセダンのみ
		ドアアンロック時	約0V	
15	ドアSW入力信号 (運転席のみ)	ドアを閉じる	約12V	
		ドアを開ける	約0V	
18	運転席ドアロックSWロック信号	パワーウィンドーメインSWのロックSWを押す	約12V→0V →12Vに変化	OFF→ON→OFF
19	運転席ドアロックSWアンロック信号	パワーウィンドーメインSWのアンロックSWを押す	↑	↑
20	リヤデフォグーSW入力信号	リヤデフォグーSW・ON	約0V	
		リヤデフォグーSW・OFF	約12V	
21	A/Tリバース入力信号	キーSWをONする	リバースSW ON時 約12V	A/T車のみ
			リバースSW OFF時 約0V	
22	キー照明出力信号	出力ON時	約0V	
		出力OFF時	約12V	
23	警報ブザー出力信号	出力ON時	約0V	約0V→12Vを繰り返す
		出力OFF時	約12V	
24	キー差し込み検知入出力信号	キーを差し込む	約12V	
		キーを抜く	約0V	
25	ライトSW入力信号	ライトSW ON時(1段)	約12V	
		ライトSW OFF時	約0V	
31	車速センサー入力信号	後輪をジャッキアップ	約7V	・停止時、0Vあるいは電源電圧 ・走行時、約7V
36	リヤデフォグー出力信号	リヤデフォグーSWをONする	約0V	

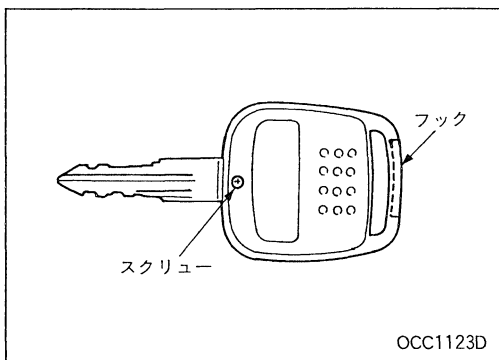
スマートエントランスC/U

リモートコントロールエントリーシステム故障診断

コントロールユニット入出力信号基準値 (続き)

端子番号	信号名	測定方法	基準	備考	
リモートコントロールエントリーC/U	1	ドアSW入力信号 (運転席のみ)	ドアを閉じる	約12V	
			ドアを開ける	約0V	
	2	ドアSW入力信号(全席)	各ドアを開く	約0V	
			全ドアを閉じる	約12V	
	3	バッテリー電源	電圧値点検	約12V	
	4	運転席ドアロックアクチュエーターロック出力信号	↑	通常時:約0V 出力時:約12V	
	5	ユニットアース	抵抗値点検	約0Ω	
	6	運転席ドアロック検出信号	ドアロック時	約12V	
			ドアアンロック時	約0V	
	7	キー差し込み検知入出力信号	キーを差し込む	約12V	
			キーを抜く	約0V	
	8	ACC電源	キーSWをACCにする	約12V	
10	スマートエントリーC/Uロック出力信号	パワーウィンドーメインSWのロックSWを押す	約12V→0V →12Vに変化	OFF→ON→OFF	
11	スマートエントリーC/Uアンロック出力信号	パワーウィンドーメインSWのアンロックSWを押す	↑	↑	
12	運転席ドアロックアクチュエーターアンロック出力信号	↑	通常時:約0V 出力時:約12V		

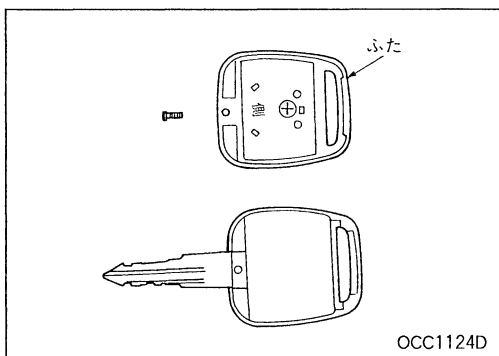
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused



診断前点検

リモコンの電池交換

- リモコンの電池電圧が基準値以下になると、リモコンの各スイッチを押したとき、リモコンが作動しなくなる。この場合、リモコン裏面の電池用ふたを外し、電池を取り外して電圧を点検する。

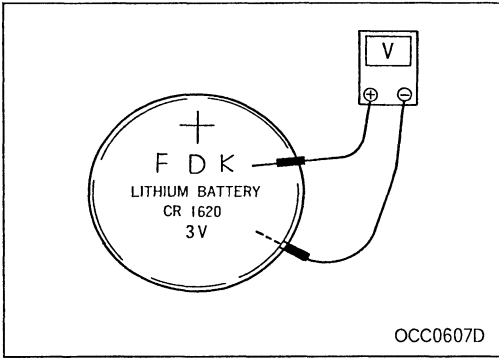


- 新しい電池と交換する場合は、ふた側をプラス極にし確実に取り付けること。

交換用電池	コイン型リチウム電池(CR1620)相当品
-------	-----------------------

- 注意 :
- 電池を交換するときは電極接点にゴミや油脂等の異物を付着させないこと。
 - 市販の電池を使用した場合、電池の寿命が短くなることがあるが、リモートコントロールエントリーシステム作動上は特に問題はない。
 - ゴムシールを確実に取り付けること。

診断前点検 (続き)

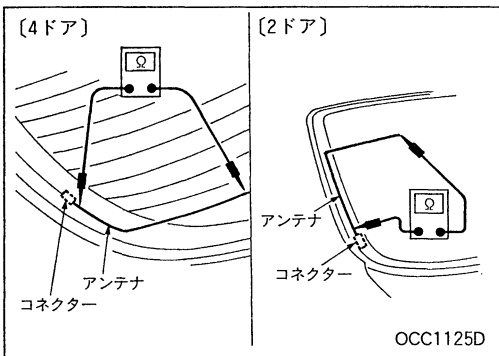


リモコン電池電圧点検

- リモコンの電池を取り出す。
 - 電池の電圧を点検する。
- 点検値 : 約2.5~3V

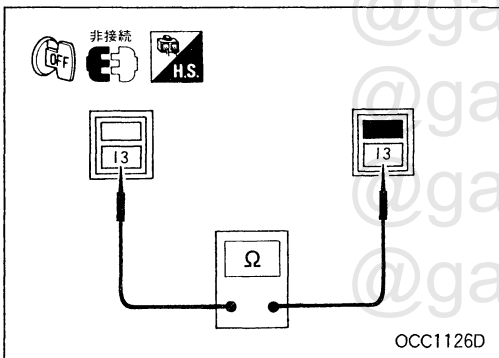
NG

リモコン電池の電圧不足



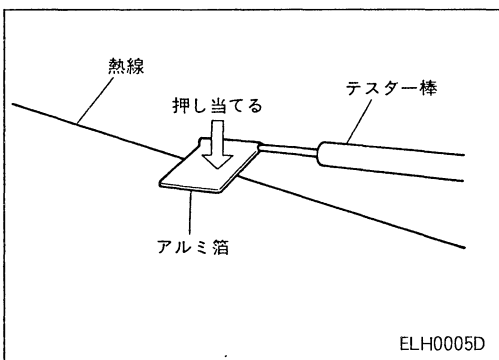
アンテナ点検

- リモートコントロールエントリーシステムのリモコン電波受信アンテナはリヤウインドー左側に設置されている。
- アンテナの断線等によりリモートコントロールエントリーシステムが正常に作動しなくなるのを防ぐため、現象別の故障診断に入る前に必ずアンテナの断線点検を行うこと。



- アンテナのフィーダー線点検は、リヤウインドー部及びリモコンエントリーコントロールユニット部の各コネクタを外し、導通点検を行う。

13 ~ 13 : 導通あり



アンテナ点検

- リヤウインドー部のアンテナ用コネクタを外し、アンテナ端末とコネクタ間の抵抗を点検する。抵抗がないこと。(0~数Ωの値)

NG

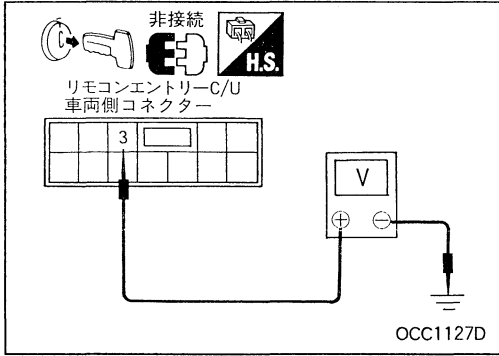
アンテナ不良

OK

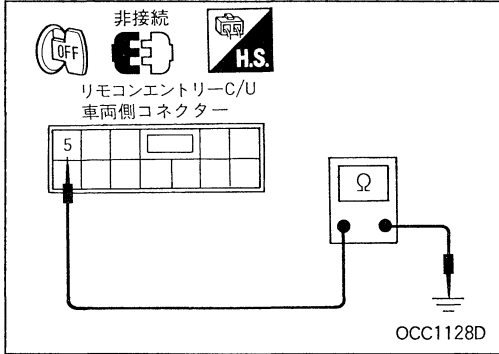
現象別診断へ

参考 : 測定時、テスター棒の先端でアンテナを傷つけないようにするためにアルミ箔を巻き、アルミ箔をアンテナに当てながら点検する。

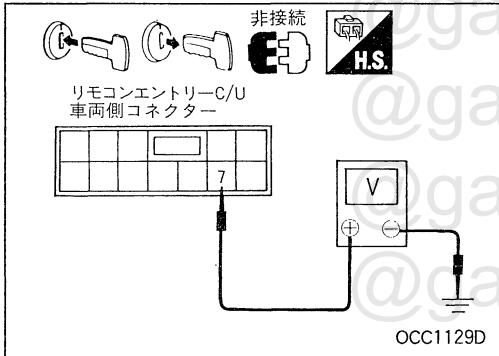
A



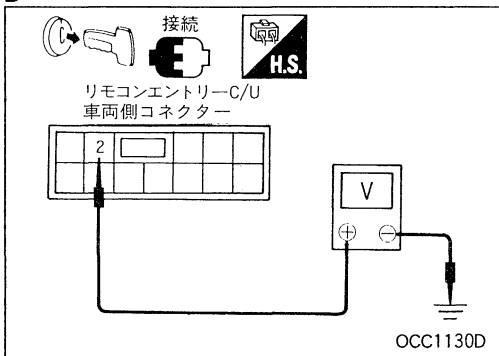
B



C



D



現象別の故障診断

現象1 リモコン操作で運転席ドアロックが作動しない

A

リモコンエントリー
C/Uの電源回路の点検

- インストロアパネル左を取り外す。
- リモコンエントリーC/Uのコネクターを外す。
- リモコンエントリーC/Uの車両側コネクター3番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

3 ～ ボディーアース :約12V

NG

ヒューズブルリンク、
C/Bヒューズ交換、ハ
ーネス不良

OK

B

リモコンエントリー
C/Uのアース回路の点検

- リモコンエントリーC/Uの車両側コネクター5番端子～ボディーアース間の導通を点検する。

5 ～ ボディーアース :導通あり

NG

ハーネス不良

OK

C

キー差し込み検知SW回路の点検

- リモコンエントリーC/Uの車両側コネクター7番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

7 ～ ボディーアース
キーSWにキーを差し込む :約12V
キーSWからキーを抜く :約0V

NG

キー差し込み検知SW
交換、ハーネス不良

OK

D

ドアSW入力信号の点検

- 全ドアを閉じたとき又は一部ドアを開けたときのリモコンエントリーC/Uの車両側コネクター2番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

2 ～ ボディーアース
全ドア閉時 :約12V
一部ドア開時 :約0V

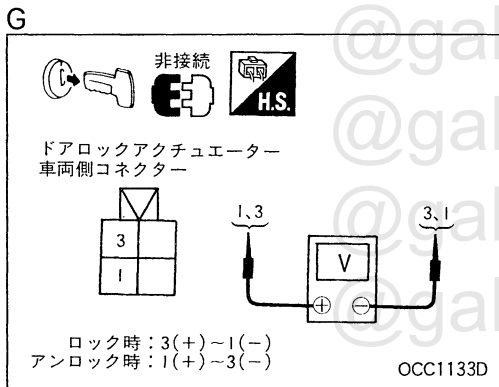
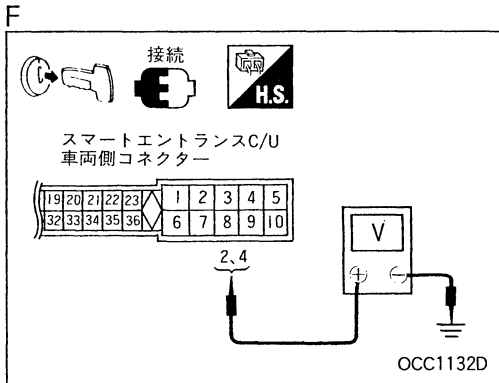
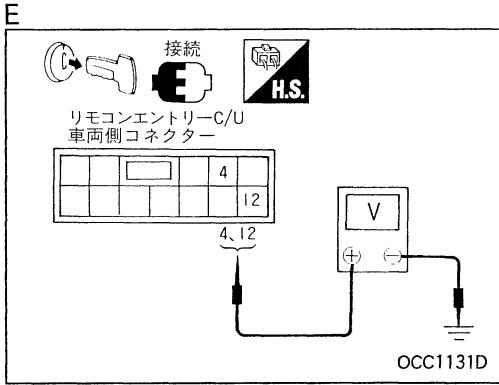
NG

各席ドアSW修理・交換、
ハーネス不良

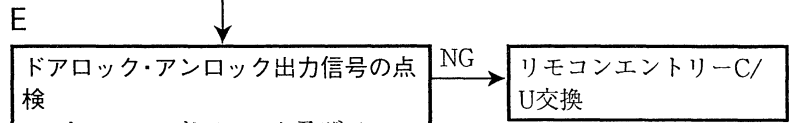
OK

次ページへ

現象1 リモコン操作で運転席ドアロックが作動しない (続き)



前ページより



- リモコンのドアロック及びアンロックSWを押したとき、リモコンエントリーC/Uの車両側コネクタ12番端子～ボディーアース・4番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

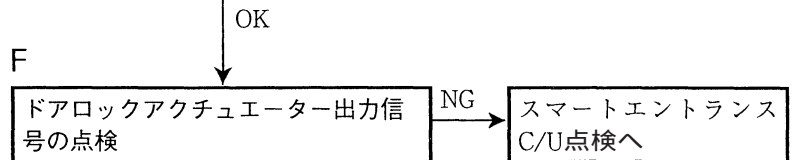
リモコンロックSW ON時

12 ~ ボディーアース :約0V
4 ~ ボディーアース :約12V

リモコンアンロックSW ON時

12 ~ ボディーアース :約12V
4 ~ ボディーアース :約0V

参考:ロック・アンロックスイッチON時に12番・4番端子の電圧は約12V→約1秒後に約0Vに変化する。



- リモコンのドアロック及びアンロックSWを押したとき、スマートエントランスC/Uの車両側コネクタ4番端子～ボディーアース・2番端子～ボディーアース間の電圧を点検する。

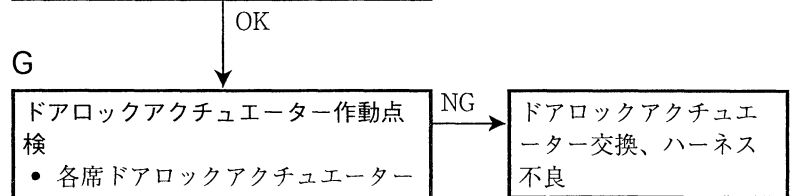
リモコンロックSW ON時

4 ~ ボディーアース :約12V
2 ~ ボディーアース :約0V

リモコンアンロックSW ON時

4 ~ ボディーアース :約0V
2 ~ ボディーアース :約12V

参考:ロック・アンロックスイッチON時に4番・2番端子の電圧は約12V→約1秒後に約0Vに変化する。



- 各席ドアロックアクチュエーターのコネクタを外す。
- 車両側ハーネスコネクタ3番端子～1番端子間の電圧を点検する。

ドアロックSWロック時

3(+)-1(-) :約12V

ドアロックSWアンロック時

1(+)-3(-) :約12V

